

2026.8.5

報道関係者 各位

< 配信枚数 2 枚 >

■開催案内■

立命館土曜講座 2026 年 9 月テーマ

伝統的街並みとユニバーサルな安全対策

開催日程 : 2026 年 9 月 12 日 (土)・26 日 (土) 10 時 00 分～11 時 30 分

開催方法 : ハイブリッド講座 (末川記念会館 SK101・Zoom ウェビナー)

2026 年 9 月の立命館土曜講座は、立命館大学歴史都市防災研究所の企画として、ハイブリッド形式 (末川記念会館 SK101・Zoom ウェビナー) で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 2026 年 9 月テーマ「伝統的街並みとユニバーサルな安全対策」

(1) 伝統構法木造建物の地震災害

日時 : 2026 年 9 月 12 日 (土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師 : 立命館大学理工学部 教授 吉富 信太

(2) 伝統的街並み及び伝統構法木造建物におけるバリアフリー

日時 : 2026 年 9 月 26 日 (土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師 : 立命館大学理工学部 講師 遠藤 直久

開催方法 : ハイブリッド講座 (末川記念会館 SK101・Zoom ウェビナー)

内 容 : 別紙参照

聴 講 料 : 無料

定 員 : 末川記念会館 SK101:180 人、Zoom ウェビナー:400 人

※実施前日 12 時 00 分までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法 : 立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>

主 催 : 立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他 : 文字通訳を配信しています。

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当: 尾崎・堀

TEL.075-465-8224

別 紙

■立命館土曜講座 2026 年 9 月テーマ「伝統的街並みとユニバーサルな安全対策」

(1) 伝統構法木造建物の地震災害

日時：2026 年 9 月 12 日(土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師：立命館大学理工学部 建築都市デザイン学科 教授 吉富 信太

講師による内容紹介：

日本には、寺社や町家、古民家など、昔ながらの技術で建てられた木造建物が数多く残されています。これらの建物は、金物や壁で強く固める現在の木造住宅とは異なり、木と木を組み合わせ、建物全体がしなやかに動くことで地震の揺れに耐える特徴があります。

本講座では、こうした伝統的な木造建物の仕組みを、現代の住宅との違いを交えながら分かりやすく紹介します。また、これまでに発生した大地震で、町家や古民家、寺社などにどのような被害が生じたのかを、具体的な事例をもとに解説します。歴史的な建物は、地域の景観や暮らし、文化を伝える大切な財産です。一方で、人の命を守るためには、地震への備えも欠かせません。建物の魅力や歴史的価値を損なわずに、どのように安全性を高め、次の世代へ受け継いでいくのかについて考えます。

(2) 伝統的街並み及び伝統構法木造建物におけるバリアフリー

日時：2026 年 9 月 26 日(土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師：立命館大学理工部 建築都市デザイン学科 講師 遠藤 直久

講師による内容紹介：

バリアフリーとは、「障害のある人や高齢者を始め、誰もが生活の中で感じる障壁(バリア)を取り除くこと」です。

近年、この整備は着実に進められていますが、実態と利用者の実感には依然として隔たりがあり、「バリアフリー・ユニバーサルデザイン化が進んでいる」と感じている人は半数に満たない状況です。観光需要が高まる中、日本の伝統的都市として誰もが安全に滞在し、文化や歴史を楽しめる環境が必要です。

しかし、伝統的都市には構造的な要因によるバリアが多く存在し、障害のある人の活動を困難にしています。一方で、これらは文化財保護や景観維持の観点から改修が難しく、改善には限界があります。

また、多くの人は障害のある人への適切な配慮や支援方法の十分な理解と知識を持っておらず、この人的要因も解決すべき重要な課題です。

そのため、現在進められているバリアフリー整備に加え、「バリアとは何か」をあらゆる視点から正しく理解し認識することが重要です。それにより景観や文化的価値を損なわない柔軟な発想が生まれるだけでなく、設備だけでは解決できない課題に対しても、人々の意識や行動による「人的バリアフリー」の実現が期待できます。

■立命館土曜講座 <WEB サイト> <https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>

1946 年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。